令和９年度

入学者募集要項

山形県立鶴岡中央高等学校
〒９９７－００１７
鶴岡市大宝寺字日本国４１０
電話（０２３５）２５－５７２３（代表）
FAX（０２３５）２５－５７３３

Ⅰ　設置課程と学科及び入学定員

全日制の課程

普 通 科　　１２０名（３学級）

総合学科　　１２０名（３学級）

Ⅱ　入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

＜普通科＞

⑴　将来の夢や目標に向かって努力する生徒を募集します。

⑵　他者を大切にする思いやりの心があり、学校や社会のルールとマナーを理解し、充実した学校生活を送ろうとする生徒を募集します。

⑶　地域社会の現状に関心があり、地域課題の解決に意欲を持って取り組む生徒を募集します。

＜総合学科＞

⑴　将来の夢や目標に向かって努力する生徒を募集します。

⑵　他者を大切にする思いやりの心があり、学校や社会のルールとマナーを理解し、充実した学校生活を送ろうとする生徒を募集します。

⑶　体験的・実践的な学習に関心があり、地域社会に貢献したいという意欲がある生徒を募集します。

Ⅲ　前期（特色）選抜について

１　普通科志願資格

⑴　令和９年３月に西学区の中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校（以下「中学校」という。）を卒業する見込みの者のうち、次の条件を満たす者。

①　本校のアドミッション・ポリシーを理解し、次のア及びイのすべての要件に該当する者。

ア　探究活動、キャリア形成に係る要件（必須）

本校の普通科の知識及び技能を身に付けることで、自分の進路目標を実現しようとする者。

イ　成績評定に係る要件（必須）

評定合計が２７以上の者。

⑵　合格した場合は、入学が確約できる者。

２　総合学科志願資格

⑴　令和９年３月に県内の中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校（以下「中学校」という。）を卒業する見込みの者のうち、次の条件を満たす者。

①　本校のアドミッション・ポリシーを理解し、次のア及びイのすべての要件に該当する者。

ア　探究活動、キャリア形成に係る要件（必須）

本校の総合学科の知識及び技術を身に付けることで、自分の進路目標を実現しようとする者。

イ　成績評定に係る要件（必須）

評定合計が２７以上の者。

⑵　合格した場合は、入学が確約できる者。

３　募集人員普通科、総合学科ともに入学定員の５０％以内

4　志願制限志願は、１人１校１学科とする。

5　進路等相談必要がある場合は令和８年１２月１４日（月）１７時までに、本校校長に中学校校長を通して健康及び身体の状況、希望学科、進路希望等について相談を行うことができる。

6　出願

⑴　出願に必要な手続き

山形県公立学校Ｗｅｂ出願システムにより出願情報の登録を行い、「山形県立学校の授業料等徴収条例」に基づき、入学者選抜手数料として２，２００円を納付する。

⑵　個別に必要な書類

①　自己申告書（別記様式第４号……用紙は高等学校で用意する。）

進路等相談を踏まえ、志願先高等学校長が認めた場合には、志願者等が作成した自己申告書を志願先高等学校長あて親展で提出することができる。郵送の場合は簡易書留郵便とし、持参の場合も含めて、志願受付期間内に必着とする。

②　区域外就学承諾書

区域外就学者のうち、現在の居住地が志願先高等学校の学区内である場合は、出願の際に山形県公立学校Ｗｅｂ出願システムで添付ファイルとして提出すること。

③　志願受付期間令和９年１月４日（月）から１月７日（木）１２時までに手続きするものとする。

④　受検票受検票は、令和９年１月１３日（水）から１月１９日（火）までに山形県公立学校Ｗｅｂ出願システムから取得し、Ａ４判用紙に印刷すること。

7　検査

⑴　期日令和９年１月１９日（火）

⑵　会場及び集合時間等

①　会場は本校とする。

②　受検者は９時までに集合し、係の指示に従う。ただし、開場は８時２０分とする。

③　受検者は、受検票を持参する。

⑶　検査内容

①　普通科学力検査

ア　内容中学校までに学習した国語・数学・英語の基礎的な内容について３教科合計９０点出題

イ　検査時間９時３０分から１０時４５分まで７５分間

ウ　選抜規準調査書【５０％】学力検査【５０％】

エ　評価の観点中学校までに学習した国語・数学・英語の基礎的な内容が身についているかを測る

②　総合学科集団面接

ア　形態１グループあたり２５分程度とする。受検者各グループの人数５人程度

イ　内容本校総合学科で学びたいことや中学校で取り組んだことなどを尋ねる

ウ　時間帯９時３０分から１１時３０分までグループごとに実施。面接が終わったグループから解散（予定）

エ　選抜規準調査書【５０％】集団面接【５０％】

オ　集団面接の評価の観点

・本校の総合学科の特性を理解している。

・目的意識が明確である。

・進路意識が明確である。

・自分の考えを言葉で伝えられる。

⑷　携帯品

①　普通科の受検者は、受検票のほか、次の筆記用具を持参するものとし、これ以外の使用は認めない。

鉛筆（シャープペンシルを含む。）、消しゴム、定規、コンパス、鉛筆削り

ア　鉛筆の芯の濃さは、２Ｂ、Ｂ、ＨＢとし、シャープペンシルの芯の太さは０．５㎜以上とする。

イ　定規は三角・直定規のいずれでもよい。ただし、分度器又は分度器のついた定規を持参してはならない。

ウ　公式や法則等の書いてある筆記用具を持参してはならない。

エ　計算機能や英単語表示機能、通信機能等の付いた腕時計等の電子機器類を持参してはならない。

オ　その他、検査の公正を欠くおそれのある物を持参してはならない。

カ　連絡手段として持参したスマートフォン、タブレット等については、校内では電源を切り、使用してはならない。

キ　下敷の使用については不可とする。

ク　聴覚障がい者で補聴器を必要とする者は、使用してもよい。

ケ　上履きを持参する。

②　総合学科の受検者は、受検票を持参するものとする。

ア　通信機能等の付いた腕時計等の電子機器類を持参してはならない。

イ　その他、検査の公正を欠くおそれのある物を持参してはならない。

ウ　連絡手段として持参したスマートフォン、タブレット等は、校内で電源を切り、使用してはならない。

エ　聴覚障がい者で補聴器を必要とする者は、使用してもよい。

オ　上履きを持参する。

８　選抜

⑴　選抜は、調査書情報、検査の結果を総合して行うものとする。

⑵　高等学校長は、令和９年１月２８日（木）１６時に山形県公立学校Ｗｅｂ出願システムにより前期（特色）選抜結果を通知するものとする。ただし、合格者の発表は、令和９年３月１７日（水）に行う。

９　後期（一般）選抜への志願

前期（特色）選抜の合格内定者は、改めて他の高等学校に出願することはできない。前期（特色）選抜に漏れた者で、後期（一般）選抜を志願する者は、山形県公立学校Ｗｅｂ出願システムで新たに後期（一般）選抜の志願情報の登録が必要となる。ただし、私立高等学校への志願変更あるいは、以降志願を行わない場合は、手続きを要しない。なお、入学者選抜手数料の納付については、次のとおりとする。

⑴　同一課程間の志願変更にあっては、改めて納付を要しない。

⑵ 全日制の課程から定時制の課程への志願変更にあっては、納付を要しない。ただし、入学者選抜手数料の差額分については還付を行わない。

⑶ 定時制の課程から全日制の課程への志願変更にあっては、入学者選抜手数料の差額分1,250円を納付する。

10 その他

総合学科の集団面接において、各グループの面接予定時間はＷｅｂ出願システムのマイページを通じて連絡する。出願受付終了後、マイページを確認すること。

Ⅳ 後期（一般）選抜について

1 志願資格

⑴ 令和９年３月に中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校を卒業見込みの者若しくは中等教育学校の前期課程（以下「中学校」という。）を修了（以下「卒業」という。）する見込みの者で、令和９年度前期（特色）選抜及び中高一貫教育における連携型入学者選抜において合格内定していない者。

⑵ 中学校を卒業した者。

⑶ 学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号）第９５条の各号のいずれかに該当する者。

2 通学区域

⑴ 普通科は西学区とする。

⑵ 総合学科は全県とする。

3 募集人員各学科の入学定員から前期（特色）選抜の合格内定者数を減じた数とする。

4 志願制限

⑴ 公立高等学校への志願は、１人１校とする。

⑵ 西学区からの志願は、普通科、総合学科とも第２志望を認める。

⑶ 西学区以外からの志願は、総合学科を第１志望とする出願のみ認める（普通科への出願はできない）。

5 学区外志願

学区外または県外等から志願する者は、それぞれ令和９年度山形県公立高等学校入学者選抜実施要項の「学区外志願」による。

6 進路等相談

必要がある場合は令和９年１月２９日（金）１７時までに、本校校長に中学校校長を通して健康及び身体の状況、希望学科、進路希望等について相談を行うことができる。

7 出願

⑴ 山形県公立学校Ｗｅｂ出願システムにより出願情報の登録を行い、「山形県立学校の授業料等徴収条例」に基づき、入学者選抜手数料として２，２００円を納付する。

⑵ 個別に必要な書類

① 自己申告書（別記様式第４号……用紙は高等学校で用意する。）進路等相談を踏まえ、志願先高等学校長が認めた場合には、志願者等が作成した自己申告書を志願先高等学校長あて親展で提出することができる。郵送の場合は簡易書留郵便とし、持参の場合も含めて、志願受付期間内に必着とする。

② 区域外就学承諾書区域外就学者のうち、現在の居住地が志願先高等学校の学区内である場合は、出願の際に山形県公立学校Ｗｅｂ出願システムで添付ファイルとして提出すること。

③ 在籍高等学校長の志願承諾書（在籍高等学校の任意様式）高等学校に在籍のまま志願する場合は、出願の際に山形県公立学校Ｗｅｂ出願システムで添付ファイルとして提出すること。

④ 住民票等令和７年度以前の卒業者で、志願先高等学校が出身中学校の学区外、かつ、現在の居住地が志願先高等学校の学区内である場合は、出願の際に山形県公立学校Ｗｅｂ出願システムで添付ファイルとして提出すること。

⑶ 志願受付期間令和９年２月１７日（水）から２月２２日（月）１２時までに手続きするものとする。

⑷ 受検票受検票は、令和９年２月２６日（金）から３月７日（日）までに山形県公立学校Ｗｅｂ出願システムから取得し、Ａ４判用紙に印刷すること。

⑸ 出願に関する留意点

① 志願の取消しや締切り前の志願変更の対象者が確認された場合は、出身中学校長が志願先高等学校長へ電話連絡する。その後、山形県公立学校Ｗｅｂ出願システムにおいて必ず公文書を添付ファイルとして提出するとともに、取消しや志願先の変更を行うこと。

② 前期（特色）選抜の志願にかかわって志願先高等学校に調査書情報、評定概況及び学区外志願に係る書類等が登録済の場合は、登録を要しない。

８ 学力検査等

⑴ 検査日時令和９年３月７日（日）

時間	教科
８：５０ ～ ９：４０	国語
１０：００ ～ １０：５０	数学
１１：１０ ～ １２：００	社会
１２：５０ ～ １３：４０	理科
１４：００ ～ １４：５０	外国語

⑵ 検査会場及び集合時間等

① 検査会場は本校とする。

② 受検者は８時２０分までに集合し、係の指示に従う。ただし、開場は７時４０分とする。

⑶ 携帯品

① 受検者は、受検票のほか、次の筆記用具を持参するものとし、これ以外の使用は認めない。

鉛筆（シャープペンシルを含む）、消しゴム、定規、コンパス、鉛筆削り

ア 鉛筆の芯の濃さは、２B、B、HBとし、シャープペンシルの芯の太さは０．５㎜以上とする。

イ 定規は三角・直定規のいずれでもよい。ただし、分度器又は分度器のついた定規を持参してはならない。

ウ 公式や法則等の書いてある筆記用具を持参してはならない。

エ 計算機能や英単語表示機能、通信機能等の付いた腕時計等の電子機器類を持参してはならない。

オ その他、検査の公正を欠くおそれのある物を持参してはならない。

カ 連絡手段として持参したスマートフォン、タブレット等については、校内では電源を切り、使用してはならない。

② 下敷の使用については不可とする。

③ 聴覚障がい者で補聴器を必要とする者は、使用してもよい。

④ 上履き、昼食を持参する。

9 選抜

⑴ 選抜は、調査書情報及び学力検査の成績に基づき、学力の総合段階及び調査書情報の記載事項を主な資料として行う。なお必要に応じて自己申告書を資料とする。

⑵ 国立諸学校に合格した志願者の取扱い

在籍または出身中学校長から、国立諸学校に合格し入学する旨報告のあった志願者については選抜から除外する。

⑶ 調査書中の第３学年の各教科の評定合計と学力検査成績の比率は３：７とする。

10 合格発表

合格者の発表は、令和９年３月１７日（水）１６時に山形県公立学校Ｗｅｂ出願システムにより行う。

Ⅴ 個人情報の提供

受検者の個人情報（学力検査の教科別得点）の提供は、山形県公立学校Ｗｅｂ出願システムにより行う。

Ⅵ 追検査について

1 対象者

志願者のうち、次の⑴～⑵のいずれかに該当し、３月７日実施の学力検査（以降、本検査という）の受検ができず、追検査の受検を希望する者。ただし、本検査を一部でも受検した者は、原則として追検査の対象とはならない。

⑴ インフルエンザ等の感染症に罹患するなどし、本検査を受検できない者。

⑵ 真にやむを得ない理由により、本検査を受検できない者。

2 受検の手続

追検査の受検を希望する者は、次の⑴～⑵の連絡等を行う。

⑴ 本検査が受検できないと判明したら、速やかに在籍又は出身中学校長に連絡する。

⑵ 上記１⑴の場合、医師の診断書を、上記１⑵の場合、本検査を受検できない理由を証明する書類を、在籍又は出身中学校長が定める期日まで在籍又は出身中学校長に提出する。

３　追検査の内容及び日時等

⑴　学力検査について

内容は前述の「８学力検査等」に準ずる。

⑵　検査日時

令和９年３月１２日（金）（時間は本検査に同じ）

⑶　検査会場

本校

４　追検査の選抜における取り扱い

追検査の結果と本検査の結果は同等に扱う。

Ⅶ　その他

⑴　記載ない事項については、「令和９年度山形県公立高等学校入学者選抜要項」による。なお、不明・疑問点がある場合は、出身又は在籍中学校を経て、本校に問い合わせること。

⑵　会場の下見の際、校舎内に立ち入ることはできない。

⑶　合格発表後の入学予定者説明会を、令和９年３月２５日（木）に実施するので、合格者は保護者同伴で必ず出席すること。なお、詳細及び合格者向けの資料は令和９年３月１７日以降、郵送する。

【参考】

1　入学後の諸経費（令和８年度実績）

入学後の本校における授業料及び所要経費は、おおよそ次のとおりです。なお、価格は変更する場合があります。

年次経費	49,500 円（年額）
諸経費（生徒会・PTA・後援会）	26,760 円（年額）
修学旅行積立金	72,000 円（年額）
上記諸経費のうち入学時納入額	42,000 円

入学料	5,650 円
教科書・副教材費	25,000～30,000 円
運動着等	37,202 円

制服代	56,000～58,000 円	その他に、半袖シャツ、サマースラックス、サマースカートなど 希望購入があります。

授業料	118,800 円(年額)	就学支援金の申請を行い、認定を受けた生徒は、原則、授業料の納付が不要となります。詳細は山形県ホームページをご覧ください。

2　学習用端末について（令和９年度から）

学習用 端末代	上限 77,000 円（税込）	県立高校では、令和９年度入学生から生徒１人１台端末を購入頂くことになります。端末の種類や購入金額、購入方法等の詳細な案内につきましては、販売業者決定後、入学予定者説明会（３月下旬）等でご案内します。

3　設置の部活動

運動部	陸上競技、野球、サッカー（男女）、バスケットボール（男女）、バレーボール（女）、バドミントン、ソフトテニス、ソフトボール、卓球、剣道、弓道、アーチェリー
文化部	吹奏楽、合唱、美術、書道、演劇、華道、茶道、ボランティア・インターアクト、テクニカルビジネス、天魄太鼓

●加入は任意です。
●設置の部活動以外の大会引率については原則行わないことをご承知ください。

4　主な学校行事（予定）

４月　入学式・対面式
５月　地区高校総体
６月　県高校総体
　　中央祭
９月　地区新人大会
１０月　スポーツ大会・県高総文祭
１０・１１月　県新人大会
１１月　修学旅行
３月　卒業式

[普通科]教育課程表

教育課程表

1年次

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年	現代の国語		言語文化		地理総合		数学Ⅰ			数学A		科学と人間生活		体育			保健	音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ		英語コミュニケーションⅠ			論理・表現Ⅰ		家庭基礎		情報Ⅰ		キャリア探究	ホームルーム活動

2年次・3年次人文社会コース

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
2年	論理国語		文学国語		古典探究		歴史総合		公共		数学Ⅱ				数学B		生物基礎		化学基礎 地学基礎		体育		保健	英語コミュニケーションⅡ			論理・表現Ⅱ		キャリア探究	ホームルーム活動
3年	論理国語		文学国語		古典探究		地理探究 日本史探究 世界史探究			課題地理 課題日本史 課題世界史		政治・経済		体育		英語コミュニケーションⅢ				課題数学A 総合英語 簿記			課題理科 英語理解 デザインⅠ		課題政経 数学C 総合音楽 総合美術 実用書道 異文化理解		論理・表現Ⅲ 課題情報 基礎看護		キャリア探究	ホームルーム活動
																				＜a選択＞			＜b選択＞		＜c選択＞		＜d選択＞			

2年次・3年次自然科学コース

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
2年		論理国語		文学国語		歴史総合		公共		数学Ⅱ				数学B		物理基礎 地学基礎		生物基礎		化学基礎		体育		保健	英語コミュニケーションⅡ			論理・表現Ⅱ		キャリア探究	ホームルーム活動
3年		論理国語		文学国語		地理探究 日本史探究 世界史探究		物理 化学 生物 地学			探究理科		体育		英語コミュニケーションⅢ						数学Ⅲ 課題数学A 総合英語 簿記			政治・経済 課題数学B デザインⅠ		課題政経 数学C 総合音楽 総合美術 実用書道		論理・表現Ⅲ 課題情報 基礎看護		キャリア探究	ホームルーム活動
																					＜a選択＞			＜b選択＞		＜c選択＞		＜d選択＞			

[総合学科]系列別教育課程表

年次	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年	現代の国語		言語文化		地理総合		数学Ⅰ				科学と人間生活		体育			保健	音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ		英語コミュニケーションⅠ			論理・表現Ⅰ		家庭総合		情報Ⅰ		産業社会と人間		HR活動

2年

共通履修科目(16)									系列基礎科目(8)			自由選択科目(4)		総合的な探究の時間(総合探究)	ホームルーム活動
									A(3)	B(3)	C(2)	D(2)	E(2)		
論理国語	文学国語	公共	物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	家庭総合		美術Ⅱ	デザインⅠ	造形基礎				
									情報処理A	簿記A	簿記B	ビジネス基礎	情報処理B		
									ファッション造形基礎【Ⅰ】	ファッション造形基礎【Ⅱ】	服飾文化	ファッションデザイン【Ⅰ】			
									フードデザイン【Ⅰ】	食文化【Ⅰ】	生物基礎				
									保育基礎【Ⅰ】	保育基礎【Ⅱ】	保育実践【Ⅰ】	総合音楽	美術Ⅰ		
									生活支援技術	社会福祉基礎	介護福祉基礎				

												数学A	音楽Ⅰ		
												総合音楽	美術Ⅰ		
												総合書道	書道Ⅰ		
												情報処理	論理・表現Ⅱ		
												陶芸	情報処理		
													ファッション造形基礎		

系列	系統
美術・デザイン	
情報ビジネス	
家政科学	被服系
	食物系
	保育系
社会福祉	福祉系

選択可能な科目

◇系列基礎科目・系列発展科目で履修していない科目を自由選択群で選択できる

◇【Ⅰ】【Ⅱ】は継続履修とする

◇網付きの科目は、系列の生徒のみが履修できる

◇E群の音楽Ⅰ，美術Ⅰ，書道Ⅰは，1年次で履修していないものを選択できる

3年

共通履修科目(12)					系列発展科目(9)			自由選択科目(6)			総合的な探究の時間(課題研究)	ホームルーム活動
					F(3)	G(3)	H(3)	I(2)	J(2)	K(2)		
論理国語	文学国語	歴史総合	体育	英語コミュニケーションⅢ	美術Ⅲ	デザインⅡ	造形表現	映像表現				
					原価計算 ソフトウェア活用	財務会計Ⅰ	ビジネス・コミュニケーション		マーケティング	ビジネス法規		
					ファッション造形【Ⅰ】	ファッション造形【Ⅱ】	保育基礎 ファッション造形基礎 フードデザイン		ファッションデザイン【Ⅱ】			
					フードデザイン【Ⅱ】	食文化【Ⅱ】						
					保育実践【Ⅱ】	保育実践【Ⅲ】						
					介護福祉基礎	こころとからだの理解	介護総合演習					

政治・経済	課題数学A	課題英語	
課題生物	課題化学	音楽Ⅱ	
情報処理	ピアノ	実用書道	
クラフトデザイン	書道Ⅱ	ビジネス基礎	
	保育基礎	陶芸	
	フードデザイン		

系列	系統
美術・デザイン	
情報ビジネス	簿記会計系
	情報処理系
家政科学	被服系
	食物系
	保育系
社会福祉	福祉系

選択可能な科目

◇系列基礎科目・系列発展科目で履修していない科目を自由選択群で選択できる

◇I群の課題生物は2年次で生物基礎、J群の課題化学は2年次で化学基礎を履修した生徒が選択できる

◇J群の課題数学Aは2年次で数学Aを履修した生徒が選択できる

◇K群の陶芸は、D群で陶芸を履修した生徒は選択できない

◇K群のビジネス基礎は、情報ビジネス系列以外の生徒が選択できる

◇J・K群の書道Ⅱ、音楽Ⅱはそれぞれ書道Ⅰ、音楽Ⅰを履修した生徒が選択できる

◇H群の家政科学系列の選択は、系列基礎科目・系列発展科目で履修または選択していない科目を選択できる

[総合学科]社会福祉系列介護福祉士国家試験受験系　教育課程表

年次	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	
1年	現代の国語		言語文化		地理総合		数学Ⅰ				科学と人間生活		体育			保健	音美書Ⅰ		英語コミュニケーションⅠ			論理・表現Ⅰ		家庭総合		情報Ⅰ		産業社会と人間		ホームルーム活動						
2年	公共		物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎		体育		保健	家庭総合		社会福祉基礎(2)		介護福祉基礎(2)		コミュニケーション技術(2)		生活支援技術(3)			介護過程(1)		介護実習(6)					こころとからだの理解(3)			総合的な探究の時間(総合探究)	ホームルーム活動		生活支援技術(3) 介護総合演習(1) こころとからだの理解(1)				国家系
3年	歴史総合		体育		社会福祉基礎(2)		介護福祉基礎(3)			生活支援技術(4)				介護過程(3)			介護総合演習(1)		介護実習(6)					こころとからだの理解(4)			総合的な探究の時間(課題研究)		ホームルーム活動	介護総合演習(1) 介護実習(1)					国家系